

発電所だより 2026年4月号

東北電力(株)女川原子力発電所総務部広報グループ
女川町塚原字前田1 電話0225-53-3111
2026年4月発行

《日頃より女川原子力発電所の運営にご理解とご協力を賜りありがとうございます》



女川原子力発電所長
もろい まこと
諸井 睦

陽春の候、新年度を迎え、地域の皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、当発電所では、現在、2号機の再稼働後初となる定期事業者検査を、1月から約5か月間の予定で実施しています。検査にあたっては、「再稼働の誇りを胸に 基本動作を徹底しよう 原点回帰 安全第一！」のローガンの下、引き続き安全作業に努めてまいります。

また、1号機では、廃止措置の第1段階である「解体工事準備期間」の作業として、使用済燃料を3号機の使用済燃料プールへ移送する作業などを行っており、3号機では、新規制基準適合性審査への申請に向けた準備の一環として、地質調査を行っているところです。

今年度も引き続き、安全最優先で発電所を運営してまいります。

新年度にあたり、当発電所に新たな仲間として24名の新入社員が配属されました。新入社員には、業務の知識や技能の習得はもちろんのこと、地域活性化の一翼を担い、大いに活躍してくれることを期待し、発電所はもとより、地域に貢献できる人材となるよう育成してまいります。

発電所の運営にあたりましては、地域の皆さまのご理解が何よりも重要と考えております。今後もわかりやすく丁寧な情報発信と地域の皆さまとのコミュニケーションの充実に努め、信頼いただける発電所であるよう引き続き取り組んでまいります。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

《女川原子力発電所に新しい仲間を迎えました》

4月2日、女川原子力発電所で新入社員受入式を行いました。新たに仲間に加わった24名の新入社員は、緊張した面持ちながらも、社会人としての決意や仕事への意気込みなどを述べました。



発電部 発電管理グループ
板倉 颯士(石巻市出身)

新入社員らしく、チャレンジ精神を持って、ひたむきに仕事に向き合いながら、地域社会に貢献できる人材になりたいです。

土木建築部 土木グループ
梅津 拓未(東松島市出身)

地域の発展に貢献できるよう、日々の業務に誠実に取り組み、着実に成長していきたいです。



《1号機廃止措置の一部様子を紹介します》

1号機は、廃止措置計画に基づき、2020年7月より廃止措置作業に着手しており、現在は「放射線管理区域外設備の解体撤去」や「汚染状況の調査」などを進めています。今回は、2026年3月19日に解体撤去を完了した補助ボイラー系設備およびタービン補機冷却系設備の撤去状況について紹介します。

■補助ボイラー系：各建屋の空調（暖房用）および熱源を必要とする設備へ供給するための蒸気をつくる系統

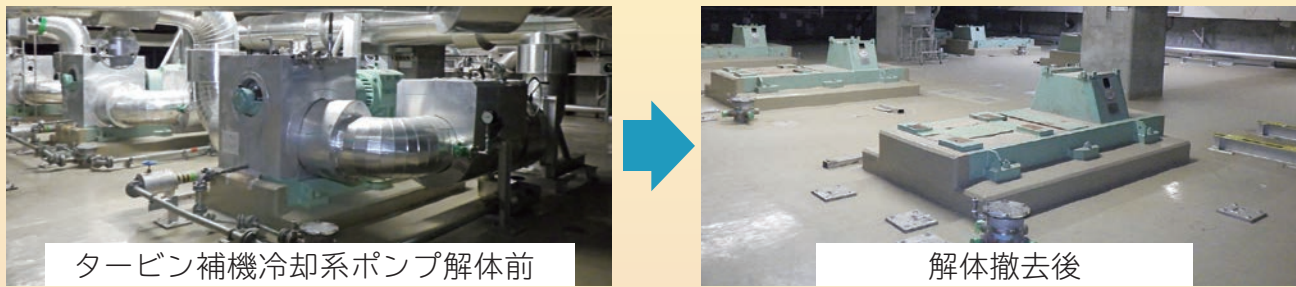


この工事では、今後も継続して使用する機器や配管が混在している作業現場の中で撤去対象機器を間違えないよう工事を進めていくことに細心の注意を払いました。このため、毎日のように作業現場に足を運び作業員の方々と撤去範囲の確認を行うなど、しっかりとコミュニケーションを取り、誤解体やエラー防止に努めました。



環境・燃料部
廃止措置管理グループ
柿内 健太

■タービン補機冷却系：タービン関連設備の除熱を目的とした冷却水を供給する系統



《発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングステーション※1やモニタリングポストで測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。2026年3月の測定結果は以下のとおりで、発電所周辺の放射線量は安定しており、発電所の運転による有意な変化はなく、環境への影響はありません。

《2号機の水素濃度検出器不具合の原因と対策について》

2号機において、2025年5月26日および同年6月20日に発生した原子炉格納容器内水素濃度検出器の不具合について、本事象が発生した原因と再発防止対策を取りまとめました。

■原因および事象発生メカニズムの概要

加熱・冷却の繰り返しによるパラジウム（Pd）線の割れと被膜の剥離

・水素濃度検出器※の製造および性能試験過程における加熱・冷却の繰り返しにより、検出器内のPd線に加わる引っ張られる力が変動を繰り返し、Pd線表面に細かな割れが生じ、進展するとともに、被膜に割れや剥がれが発生した。

Pd線の酸化と割れの進展

・被膜が剥がれた箇所および割れた箇所から酸化が進んだ結果、Pd線は脆くなり、一定の引っ張られる力により割れが進展したことで、電気抵抗値が急激に増加し、正しい値を示さない不具合へと至った。

※水素濃度検出器は、細いPd線をボビンに巻き付けた構造となっており、水素を吸着すると電気抵抗値が変化するPdの性質を用いて水素濃度を測定する。

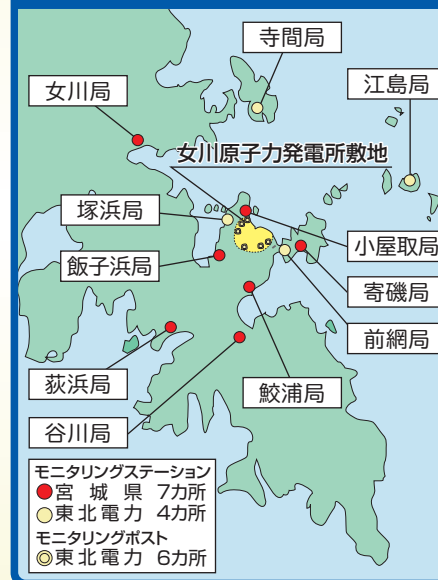
■再発防止対策の概要

- ・性能試験過程における加熱・冷却回数の低減によるPd線の割れの発生・進展の抑制
- ・被膜の不純物の除去と厚さ均一化による品質向上

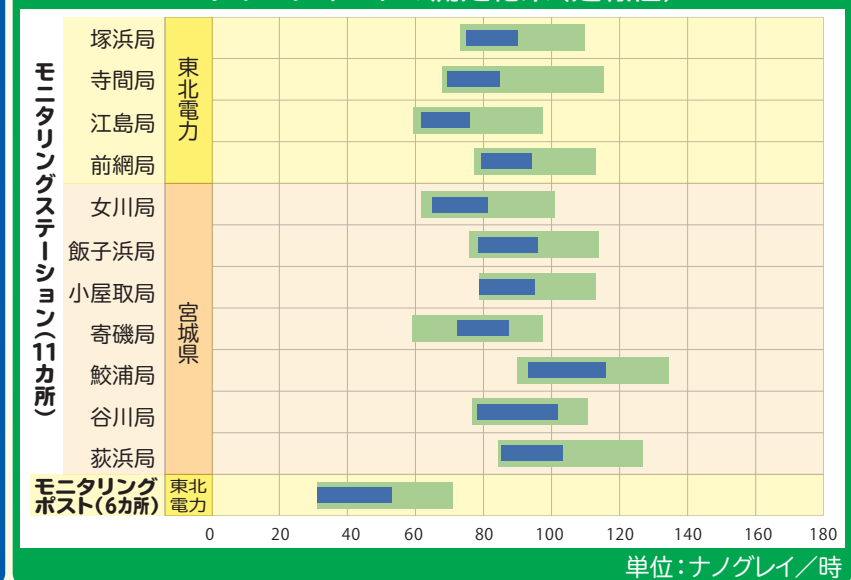
原因と対策の詳細はこちらの二次元コードからご覧いただけます



モニタリングステーションとモニタリングポストの設置地点



2026年3月のモニタリングステーションとモニタリングポストの測定結果（速報値）※2



※1 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。
 ※2 モニタリングポストの測定値は、検出器の種類が異なるため、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響分が含まれないことから、モニタリングステーションの測定値より20~40ナノグレイ/時程度低い測定値となっています。

